

# 油谷小だより

油谷小 HP:

<http://member.hot-cha.tv/~yuyashogako/>

令和2年 12月号

NO.9 11月24日

長門市油谷新別名10666

TEL (0837) 32-1102

長門市立油谷小学校 校長 長廻 修



## 心がぽかぽかする言葉



ここ数日、風もやわらかく、暖かい朝が続きました。子どもたちは、しいの実を拾ったりきれいな花を摘んだりしながら学校にやってきます(少し道草も心配)。私にくれるのかな?と思ったら、担任の先生に見せてあげると言って足早に正門に向かいます(笑)。素直な子どもたちに元気もらっています。元気な様子は、運動場でも見られます。今度実施する持久走大会に向けて、ジョギングをしている子どもたちがいます。その隣では、自主的にあいさつ運動を行う運営委員会や高学年の子どもが見られ、大きなあいさつの声が運動場から響いています。心が温くなる朝のスタートです。

先のあいさつ運動については、この前の代表委員会で出た意見がもとで始まりました。テーマは、「**心がぽかぽかする言葉や行動が増えるために、どうしたらよいか考えよう**」でした。様々な意見交換の末、大きな絵になるポスターを作ることやあいさつマスターを決めることなどが決まりました。あいさつ運動をすることも決まったことの一つです。みんなの心をぽかぽかにするために、運営委員会を中心に頑張っているところです。

そこで、振り返って、子どもたちの会話の言葉を聞いていると、びっくりすることが多いです。心がぽかぽかする言葉とは正反対のように思います。

- |           |            |         |
|-----------|------------|---------|
| ・うるせえだまれ! | ・おまえには関係ない | ・さわんなって |
| ・きもい      | ・きえろ       | ・死ね     |
| ・うざい      |            | など      |

全員がこのような言葉のやり取りをしているわけではありません。しかし、日常的に多く聞こえてくるのは事実です。さっきまで、にこにこしながら私たち大人と普通の言葉遣いで話していた子どもが、友達同士の会話となると急に変わってしまいます。それに伴い、行動も粗雑な面が見られ、まるでけんかをしているような言動が続きます。時には、本当にけんかに発展することも。素直でいい子どもたちばかりであるがゆえにとっても残念です。

なぜ、このような言葉遣いをしてしまうのでしょうか?一つは、乱暴な言葉を使って、友達が笑ったり、大きく反応したりして本人としては「面白いこと」として残るからだと考えられます。これで注目を得ることができます。もう一つは、同じ乱暴な言葉でも、良好な間柄であれば、親近感を醸し出す場合があると考えられるからです。

ここで、考えたいのは、乱暴な言葉を使っていたら、まともな人間関係が築けないということです。また、人間関係が一瞬で壊れることもあるということです。良好な間柄だからと思って発した言葉が相手を傷つけ、もう関係を修復できなくなる場合もあると思われます。子どもたちは、テレビのお笑い芸人の言葉遣いや目の前の相手に毒つく様子から、またチューバー、ゲームの対戦中に発する言葉に大きく影響を受けています。言葉遣いとは少し異なるかもしれませんが、芸能人を揶揄したり否定したりする言葉が SNS にはあふれています。そんな言語環境だからこそ、学校で使う言葉は意識させていきたいと思います。家でも話し合っていたいただけだと嬉しいです。